

心のよりどころの存在に

関東塗料工業組合

理事長 篠原 幸治



内前理事長に代わり、5月の第60回通常総会で理事長に選出されました。人間で言えば還暦にあたる節目の年に理事長になったことの意義を噛みしめ、その歴史と責任の重さに身の引き締まる思いしております。寺内前理事長をはじめ、創立からこれまでのあいだ組合発展のため尽力されたすべての皆様に感謝申し上げます。

動、各種懇親会、ゴルフ同好会などを通じ、悩みや愚痴を聞いてもらい、楽しい思いを共有する中で、いつしかこの組合が私の心のよりどころとなっておりました。

もちろん、同業者の立場ゆえに仕事上では競合する場面もありますが、それを超越して業界の発展のためには喜んで協力しようとするという姿勢、あるいは困ったときはお互い様というような文化に幾度となく触れることができ、そのたびにこの塗料業界で働く勇気をいただけてまいりました。

力を合わせれば私の思いを達成できるのではないかと考えております。現在、塗料業界としては解決しなければならぬ問題・課題が山積しています。いよいよ一社単独でそれらをすべて解決することが難しくなってきました。こうした時期であればこそ組合が皆様にとってお役に立てるのではないかと考えております。

本来であれば、この紙面におきまして当組合の活動内容をご紹介し、関係各位にご理解とご支援をお願いするべきところではあります。新任理事長としての所信表明をもってご挨拶に代えたいと思います。

私がこの塗料業界に入ってから、何とかこれまでやってこられたのも、組合のおかげであると言っても過言ではありませぬ。それ故、私としてはこの組合が組合員の皆様にとつての心のよりどころになるような組織にしたいと思っております。

最新で正しい情報を皆様と共有すること、あるいは教育訓練の機会を提供することなど、諸先輩がやってこられた基本的な機能を拡充することに加えて、特に人事面での課題とともに解決するような仕組みを構築するといった新しいことについても果敢に取り組んでいきたいと思っております。

本紙をご覧の皆様には暑中お見舞いを申し上げます。

最高の平均気温を記録しただけでなく、7月も全国各地で毎日のように猛暑日が観測されており、ますますCO₂濃度増加による気象の変化、気候変動を実感させられる毎日です。

端的に申し上げて、私はこの組合を組合員の皆様にとつての「心のよりどころ」のような存在にしたいと思っております。私自身は20代後半にこの業界に入ってまいりました。当初不安で一杯でしたが、関東塗料の皆様に暖かく迎え入れていただき、多くのことを学ばせていただきました。

委員会活

委員として、理事の方々が大変優秀かつ、協力的な方は多くあり、チームとして

今年6月に観測史上

私は、これまで4期8年理事長を務められた寺

たいただきました。

秀かつ、協力的な方は

をお願いいたします。